

国際発信のための英語ワークショップ

——プレゼンテーションと論文執筆の実践的技法——

オーガナイザー

成蹊大学 小林 盾 (IJJS 編集委員)
東北大学 佐藤 嘉倫 (IJJS 副編集長)

1 目的

大会前日 2014 年 11 月 21 日 (金) に神戸大学において、英語ワークショップが開催されます。7 月に世界社会学会議横浜大会が開かれ、多くの方が英語報告を経験したことと思います。次のステップは、海外の学会で英語発表をしたり、報告内容を英語論文として刊行することでしょう。

2016 年 7 月には、国際社会学会フォーラムがオーストリアのウィーンで開催されます。このワークショップは、ウィーンでの英語報告と英語論文配布を、1つの目標としたいと思います。

2 内容

では、英語でプレゼンテーションしたり、論文を執筆するためには、どのようなことに注意する必要があるのでしょうか。もう一段ステップアップするには、どうすればよいのでしょうか。海外での学会は、どのような雰囲気なのでしょうか。英語雑誌の査読システムは、どのようになっているのでしょうか。

このワークショップでは、抽象的な議論は避け、「一通り発表する」「一通り論文を書く」ための具体的なコツ (実践的技法) を、参加者と一緒に考えていくこととします。学会英語誌 *International Journal of Japanese Sociology* が主催します。奮ってご参加ください。詳細については、随時学会ウェブページに掲載していきます。

- ・日時：2014 年 11 月 21 日 (金) 午後 1 時～4 時
- ・場所：神戸大学文学部学生ホール
- ・内容、講師：
 - (1) 英語プレゼンテーションの実践的技法 小林 盾 (成蹊大学)
 - (2) 英語論文執筆の実践的技法 秋吉美都 (専修大学)
 - (3) 質疑応答
- ・募集：20 名
- ・申込み方法：メールにて、11 月 19 日 (水) までに事務局の大崎裕子 (成蹊大学, hiroko.osaki@ejs.seikei.ac.jp) へ下記をご連絡ください。(1) 氏名, (2) 所属, (3) ワークショップでとくに知りたいこと (あれば)
- ・主催：International Journal of Japanese Sociology

文献

- Abbott, Andrew, 2014, *Digital Paper: A Manual for Research and Writing with Library and Internet Materials*, University of Chicago Press.
- 石井クンツ昌子, 2010, 『社会科学系のための英語研究論文の書き方：執筆から発表・投稿までの基礎知識』ミネルヴァ書房。
- 籠谷和弘・小林盾・秋吉美都他, 2013, 『ソーシャル・メディアでつながる大学教育：ネットワーク時代の授業支援』ハーベスト社。